

## 令和7年度第1回勝浦市地域公共交通活性化協議会 会議録

開催日時：令和7年6月25日（水） 午後2時から

開催場所：勝浦市役所 4階 大会議室

出席委員：別紙 出席者名簿のとおり（委員20名のうち15名出席）

欠席委員：伊藤委員、成田委員、大矢委員、須金委員、紫関委員

事務局：勝浦市企画課（水野・忍足・植村）

オブザーバー：ランドブレイン株式会社（2名）

### 会議次第

1. 開会
2. 報告
  - （1）令和6年度協議会事業報告及び決算報告について
  - （2）令和6年度デマンドタクシー運行実績について
  - （3）デマンドタクシー利用者アンケートの実施について
  - （4）「ノッカルかつうら」実証運行状況について
3. 議題
  - （1）令和8年度地域公共交通確保維持事業に係る地域公共交通計画認定申請書の提出について
4. その他  
令和7年度勝浦市地域公共交通計画推進業務について
5. 閉会

### [配布資料]

- ・会議資料
- ・地域公共交通計画認定申請書
- ・令和7年度勝浦市地域公共交通計画推進業務 業務概要

---

### 1. 開会

### 2. 報告

- （1）令和6年度協議会事業報告書及び決算報告について

#### 【説明】

- ・事務局より、会議資料P3～7について説明

#### 【質疑応答】

- ・質疑なし

- （2）令和6年度デマンドタクシー運行実績について

#### 【説明】

- ・事務局より、会議資料P8について説明

【質疑応答】

(委員)

デマンドタクシーの運行ルートの変更など、現時点でサービスの変更を検討しているのか。また利用者から要望等は挙がっているのか。

(事務局)

昨年 10 月以降の運行区域拡大に伴い、地元等で説明会を実施し、参加者から「共通乗降場を別の場所に設けてほしい」という声をいただいた。今年度実施するデマンドタクシー利用者アンケートの結果を踏まえ、利便性が向上できるよう、委員の皆様と協議・検討していきたいと考えております。

(会長)

運転免許返納者の利用割合を記載している理由は。

(事務局)

事務局として、運転免許返納者の利用者数を把握し、今後の公共交通のあり方を検討するために記載しております。勝浦市は高齢者が多く、交通が不便な地域もあることから、返納者に寄り添っていきたいと考えている。地域住民から運転免許証を返納したくても返納できないという声を聞くことから、地域の状況も把握した上で、今後の交通計画の中に方向性を見出していきたいと考えております。

(会長)

運転免許証返納者への割引は、御宿町民も対象か。

(事務局)

対象であります。

(会長)

9 月から 10 月にかけて運転免許証返納者の利用が増えている。御宿町の運転免許返納者の利用が多いと感じるが、勝浦市と運転免許返納者の利用傾向は異なるのか。

(事務局)

利用傾向の違いについては、把握しておりません。御宿町の利用者は、自身の運転能力を考慮し、運転免許証を返納して利用されている方が多い可能性が考えられます。

(会長)

デマンドタクシーのサービス変更を検討するにあたり、運転免許返納者の利用を増やすために、返納することが難しい方に対して、どのようにアプローチしていくのかについて、総合的に検討していく必要があると思います。

### (3) 令和6年度デマンドタクシー利用者アンケートの実施について

#### 【説明】

- ・事務局より、会議資料 P9 について説明

#### 【質疑応答】

(委員)

アンケート調査の対象を利用者のみに絞った理由を教えてください。また利用されている便数（設問6と7）は、利用実績から拾えることから、入れた理由を教えてください。

(事務局)

前回実施時においても、直近でデマンドタクシーを利用された方を対象に調査を行ったことから、今回も同様に調査を行うものであります。実利用者に調査を行うことにより、デマンドタクシーに対して感じていることを把握することが狙いである。交通計画の見直し等のアンケート調査を実施した際には、デマンドタクシーの利用登録をしているが、利用されていない方にも伺いたい。

利用の多い便数（設問6と7）については、事務局も把握しており、設問の有無については、ランドブレイン株式会社と再検討いたします。

(会長)

デマンドタクシー利用者アンケート調査は、今回が初めてか。

(事務局)

デマンドのアンケート調査は、5回目である。隔年で調査を実施しており、直近では令和5年に実施しており、今年度は、勝浦市地域公共交通計画に位置づけられていることから実施するものであります。

(会長)

今回のアンケート調査の目的は、デマンドタクシーの運行エリアの拡大や運行ルートの見直しか。

(事務局)

その通りであります。

利用者の生の声を聞きたいことから、デマンドタクシーの車内にアンケート調査票を設置するなど、回答率が上がるような工夫をしていきたいと考えております。

(会長)

アンケート調査を通じて、事務局側が得たい情報はあるのか。

(事務局)

事務局として、デジタル化の導入を検討しており、将来的にはオンライン予約やキャッシュレス決済の導入を考えている。高齢者の利用が多いことから、利用者の意見を踏まえ検討していきたい。また、免許証の有無や追加してほしい共通乗降場についても把握したいと考えております。

(委員)

設問 13 に「⑤予約が面倒」と記載されている。現在の予約方法と面倒でない予約方法を教えてほしい。

(事務局)

現在、予約方法は電話予約のみのため、時代に合わせて、スマホ等を活用したオンライン予約の導入を検討しております。

(委員)

電話予約が面倒であることから、スマホを活用したオンライン予約に変更するイメージか。高齢者は、スマホを使うよりも電話を使用した方が予約しやすいと思う。

(事務局)

ご意見のとおり、電話予約の方が予約しやすい意見もあることから、オンライン予約を導入した場合も、電話予約と並行して予約できるようにする。電話予約からオンライン予約に切り替えることは難しいと思っております。

(委員)

予約に関して、もっと簡単な方法はないのか。

(事務局)

予約については、事前予約ではなく、利用したいときに利用できる仕組みづくりが考えられます。また電話予約は、オンライン予約が不要なことから、難しいとは考えていない。

(委員)

アンケート調査の結果について、分かり次第、教えてほしい。

(事務局)

第 2 回もしくは、第 3 回の協議会で報告する予定であります。

(会長)

委員の意見のとおり、「⑤予約が面倒」という回答は、受け手によって意味合いが異なることから、事務局が想定している“すぐに利用できない”ということを聞きたい場合は、回答項目の書き方を工夫する必要がある。

#### (4)「ノッカルかつうら」実証運行状況について

##### 【説明】

- ・事務局より、会議資料 P10～13 について説明

##### 【質疑応答】

(委員)

ドライバーの登録者の3名は、どのような方か。

(事務局)

ドライバーの登録者は、男性2名、女性1名の3名。年齢は、男性の方は共に50代、女性の方は70代半ばくらいである。男性の方は共に勤められていることから、運行日に都合が合わず、実質1名に負担が集中している状況であります。

事務局としては、ドライバーを増やしていきたい思いがあり、4月以降に松野地区の利用者向け説明会の際に、利用説明の他、ドライバー募集について周知したが、利用したい方がいる一方、ドライバー確保は進んでいない状況である。助け合い交通のため、ドライバーがいないと成り立たないことから、区長等に対しドライバー確保の相談を行っていききたいと考えております。

(委員)

運行エリアの人口や世帯数はどのくらいか。

(事務局)

蟹田が22世帯39人、松野が166世帯331人、中倉が47世帯113人、市野川が101世帯186人、花里が7世帯7人で人口は676人であります。

(委員)

基本的に、こちらの地区は日中の時間帯は自宅に不在か。

(委員)

そんなことはない。

(委員)

運転手のなり手となる方はいるのか。

(委員)

地区内には、退職された方がいることから、そのような方に対し、ドライバーのお願いをすると、数人は確保できると思う。私も対象者となるが、水曜日と金曜日の2日間、時間を拘束されてしまうことから難しいと感じている。

(会長)

ドライバーの募集は、総野地区に限定しているのか。

(事務局)

総野地区に限ってはおりません。上野地区と興津地区は距離的に離れていることから、勝浦地区と総野地区で募集を行っていて、事務局としては、行きを総野地区、帰りを勝浦地区の方にドライバーをしていただきたいと思いますと考えております。

(委員)

乗降場所は、バス停か。市野川、花里から国道 297 号までは距離がある。乗降場所までの移動手段はどのようなものか。

(事務局)

それぞれの地区に目印となる安全な場所を停留所として数ヵ所設定している。利用登録の際に、居住地から最寄りの乗降場所の説明を行っており、停留所から遠い場合には、変更も可能としている。今後、利用者向け、写真と地図が一体となった資料を渡すことを検討しております。

(委員)

ドライバーの主な要件として、「過去 2 年以内に免許停止処分がない方」とあり、基本的には、申請者による自己申告か。

(事務局)

その通りであります。基本的には、自己申告であります。

(委員)

ドライバー報償費は、1 運行で 2 人から 3 人乗り合わせた場合も同じ報償費か。

(事務局)

現在は、複数人乗り合わせた場合も同じ報償費であります。今後、報償費については、協議会の中で諮っていき、なるべくドライバーがやりやすいような形で、利用者にとっても過度な負担にならないような料金設定をしていきたいと考えております。

(委員)

9 時の便について、蟹田、松野の各停留所から松野バス停へ利用する方はいますか。

(事務局)

現時点では、利用者はいない状況であります。この便は、既存バス路線となる松野バス停を 9 時 23 分発の勝浦方面に向かうバスと接続し利用してもらいたいことを目的に設定しており、今後は、交通事業者と協議を行い、検討していきたいと考えております。

(委員)

現在、水曜日と金曜日に運行されているが、将来、火曜日と木曜日に用事があり利用したい方や直行便の方が利用しやすいという方が出てくると思う。定期的に運行されると利用者やドライバーの予定が立てやすいと思う。

(事務局)

実際、他の曜日に利用したいという声をいただいております。現在の運行曜日は、ドライバーの方から比較的予定を立てやすいことから設定しました。本格運行の際は、運行曜日を検討するとともにドライバーも確保していきたいと考えております。

(委員)

利用者の中には、複数回利用された方はいますか。

(事務局)

複数回利用された方はおります。

(委員)

市野川では、「利用しない」という声があった。利用している地区はどこか。

(事務局)

現在は、松野と花里の居住者が利用しております。

(委員)

市野川で周知することや区長に対し、体験乗車から地区に利用促進を促すことで利用が増えてくると思う。

(事務局)

今年度、区長が変わったところが多いことから、改めて、該当する地区に対し、説明を行っていきたいと考えております。

(会長：加藤委員)

実証運行は、今年の9月まで行うとのことでありますので、様々の意見をいただき、実証運行期間中に見直しできるものは見直していただきたい。

### 3. 議題

#### (1) 令和 8 年度地域公共交通確保維持事業に係る地域公共交通計画認定申請書の提出について

##### 【説明】

- ・事務局より、会議資料「地域公共交通計画認定申請書」について説明

##### 【質疑応答】

(会長)

24 ページの協議会の開催状況の令和 7 年 6 月 25 日の「令和 7 年度地域公共交通保持事業に係る地域公共交通計画認定申請書の提出について協議」について、「令和 7 年度」から「令和 8 年度」に訂正をお願いします。

##### 【議決】

- ・異議なし、承認

### 4. その他

#### 令和 7 年度勝浦市地域公共交通計画推進業務について

##### 【説明】

- ・事務局より、業務委託者の紹介
- ・業務委託者（ランドブレイン株式会社）より、会議資料「令和 7 年度地域公共交通計画推進業務 業務概要」について説明

##### 【質疑応答】

- ・質疑なし

### 5. 閉会